

## コニカ レーザーイメージャ Li-62P

### 【形状、構造等】

1. 画像診断用イメージャ コニカ レーザーイメージャ Li-62P (以下 Li-62P という) は、以下のユニットにより構成される。

イメージャ部

- |                |    |
|----------------|----|
| (1) サプライ部      | 1式 |
| (2) フィルムエレベーター | 1式 |
| (3) 書き込み部      | 1式 |
| (4) 曲率搬送部      | 1式 |
| (5) 直交部        | 1式 |
| (6) 排出部        | 1式 |
| (7) 電装部        | 1式 |

自動現像機部

- |               |    |
|---------------|----|
| (8) 現像処理部     | 1式 |
| (9) ケミカルミキサー部 | 1式 |

詳細は取扱説明書を参照してください。

### 2. 各部の名称



### 3. 電気定格

- |      |               |
|------|---------------|
| 定格電圧 | : 単相 AC 200V  |
| 周波数  | : 50 又は 60 Hz |
| 電源入力 | : 4.8 KW      |

### 4. 本体寸法及び重量

- |          |                            |
|----------|----------------------------|
| 外形寸法(mm) | : 幅 1433 x 奥行 780 x 高 1100 |
| 重量       | : 約 390kg                  |

### 【性能、使用目的、効能又は効果】

1. 仕様  
形態 : 自動現像機一体型

レーザーイメージャー

- |          |  |
|----------|--|
| 使用可能フィルム | : 弊社指定フィルム                                     |
| 処理能力     | : 140 枚/時<br>(半切を連続コピー時)                       |
| 使用処理薬品   | : TC-DF1<br>(タブレットケミカル)                        |
| フィルムサプライ | : トレイ方式 (2トレイ)<br>(トレイあたり最大 100 枚)             |
| 出力階調     | : 4096 階調 (12 ビット)                             |
| 水洗水      | : 常温水 (5~30℃)<br>水圧 1.5~7kgf / cm <sup>2</sup> |
| 所要水量     | : 3L / 分                                       |
| ケミカルミキサー | : 本体下部に内蔵                                      |

### 2. 使用目的

Li-62P は病院等の放射線科で使用し、画像診断装置から受けた画像信号をフィルムにプリントすることを目的としたものである。

### 【操作方法又は使用方法等】

#### 1. 使用環境条件

- |      |                      |
|------|----------------------|
| 温度   | : 15~30              |
| 湿度   | : 30~80 %RH (結露なきこと) |
| 電源電圧 | : 単相 AC 200V ±10%    |

#### 2. 操作方法手順

##### (1) 使用前

電源を投入し、自動現像機部が処理可(液温が設定温度)になるまで待機する。  
フィルムトレイに未露光フィルムを装填する。  
本体用コントローラーの STANDBY 画面の START をタッチする。

##### (2) 使用中

診断装置から選択された画像をプリント操作する。  
フィルムバスケットに排出された現像済みフィルムを取り出す。  
トレイに未露光フィルムを装填する。  
現像補充液・定着補充液を補充する。

##### (3) 使用后

通常画面の電源 OFF キーをタッチする。  
自動現像機部の終了処理をする。

詳細は取扱説明書を参照してください。

### 【使用上の注意】

- Li-62P のアースが確実に接続されていることを確認すること。
- 全てのコード類の接続が確実に、正確に行われていることを確認すること。
- Li-62P を使用の際は、設置環境(温度、湿度、電源定格)を守ること。
- 環境を良好に保つため、Li-62P を設置した部屋の

取扱説明書を必ずご参照ください。

換気扇を常時作動させ、絶えず新鮮な空気を入れること。

5. Li-62P を使用する前に必ず始業点検を行い、機器が正常に作動することを確認すること。
6. Li-62P の周辺に水漏れがある場合は、直ちに給水バルブを閉じて、最寄りの弊社サービス窓口又は水道工事業者へ連絡すること。
7. Li-62P の使用前は、給水バルブが開いていることと、補充液及び処理タンク内の処理液が充分あることを確認すること。
8. フィルム、処理薬品は Li-62P に適合した製品を使用すること。
9. フィルムを処理する際は、液温が設定温度になっていることを確認すること。
10. Li-62P に不具合が発生した場合は、電源を切り「故障中」等の適切な表示を行い最寄りの弊社サービス窓口へ連絡すること。
11. Li-62P のカバーを開けた状態で使用しないこと。
12. Li-62P の処理タンク内に物を落とさないこと。
13. Li-62P 使用後は給水バルブを必ず閉めること。
14. 清掃、点検の際は必ず Li-62P の電源を切ること。
15. Li-62P の傍で携帯電話など電磁波を発生する機器は、装置に障害をおよぼす恐れがあるので使用しないこと。
16. Li-62P は防爆型ではないので、装置の近くで可燃性及び爆発性の気体を使用しないこと。
17. Li-62P この装置を廃棄する場合は、産業廃棄物となる。必ず地方自治体の条例・規則に従い、許可を得た産業廃棄物処分業者に廃棄を依頼すること。
18. 現像廃液と定着廃液は許可を得た産業廃棄物処分業者に処理を依頼するか、自家処理の場合は産業廃棄物として、必ず地方自治体の条例・規則に従うこと。

詳細は取扱説明書を参照してください。

#### 【作動及び動作原理】

Li-62P を施設内の通信網に接続することにより、Li-62P は通信先からの指令で、受信画像データを自動的にフィルムにプリントし、現像処理を行ってからフィルムを排出する。イメージャー部の書き込み部ではレーザー光走査により、フィルムに画像の書き込みを行う。その後、フィルムを自動現像機部に搬送し、現像処理部で処理（現像、定着、水洗、スクイズ、乾燥）し、写真画像を形成したフィルムをフィルムバスケット部へ排出する。電装部は画像データの処理と管理、及び全体の制御を行う。

#### 【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

##### 1. 保管方法

水のかからない場所に保管してください。  
気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、イオウ分を含んだ空気などにより悪影響の生ずる恐れのない場所に保管してください。  
傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）など安定状態に注意してください。  
化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に保管しないでください。

##### 2. 使用耐用年数（自主基準）

指定された保守点検を実施した場合に限り6年間です。

##### 3. 主な定期交換部品

項目	作業周期
軸受けの交換	18ヶ月
吸水ローラーの交換	24ヶ月
シリコンローラーの交換	24ヶ月

#### 【保守点検に係る事項】

1. Li-62P の使用・保守の管理責任は使用者側にあります。
2. 使用者による日常及び定期点検を必ず行ってください。
3. 使用者による主な保守点検項目

項目	点検頻度
キャリブレーションパターンのプリントと濃度チェック	1週間
現像液と定着液の処理液更新	3ヶ月
現像処理槽、現像ラック及びローラーのクリーナー洗浄	3ヶ月
薬品挿入カセットの洗浄	3ヶ月

##### 4. 業者による主な保守点検項目

項目	点検頻度
検出センサーの清掃	6ヶ月
乾燥ラックの乾燥ノズルとローラーの清掃	6ヶ月
駆動モーター、駆動軸の各ギアのカタ及び歯面の点検	12ヶ月
補充タンク及び補充液供給パイプの清掃・点検	12ヶ月

詳細は取扱説明書を参照してください。

#### 【製造業者又は輸入販売業者の名称および住所等】

製造業者名：コニカミノルタテクノプロダクト株式会社  
住所：〒350-1328 埼玉県狭山市広瀬台 2-2-1  
電話番号：042-954-8869  
  
販売会社名：コニカミノルタエムジー株式会社  
住所：〒163-0512 東京都新宿区西新宿 1-26-2  
電話番号：03-3349-5175（代）

取扱説明書を必ずご参照ください。